

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会  
2004年度第1回常任幹事会議事要録

日時：2004年4月28日(水)14時～17時

場所：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学

出席：金城学院大学(鈴木 卓美) 大同工業大学(光永 猛)

中京大学(中河原 省三、村上 康廣)

東海女子大学・東海女子短期大学(児玉 孝乃、村井 千恵)

愛知大学(三浦 文博) 椋山女学園大学(北出 幸夫) 名城大学(丹羽 眞吾)

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学(近藤 紀男)

南山大学(大森 正樹、栗山 義久、石井 知好) 敬称略

議事に先立ち、出席者の自己紹介が行なわれた。また議事の進行は理事校南山大学図書館長(大森)が担当し、下記の議題を協議した。

< 1 > 2004(平成16)年度東海地区協議会総会について

[報告事項]

1. 2003(平成15)年度東海地区協議会事業報告

理事校南山大学(栗山)より資料(p.3~5)に基づき標記報告が行なわれた。

2. 2003(平成15)年度東海地区協議会研究会事業報告

前研究会幹事校大同工業大学(光永)より資料(p.6~8)に基づき、2003年度は『レファレンスについて～「レファレンス事例集」の構築と活用～』をテーマに研究会、研究集会および運営委員会を開催したとの報告が行なわれた。

3. 2003(平成15)年度東海地区協議会相互協力委員会事業報告

相互協力委員会委員長校金城学院大学(鈴木)より資料(p.9~11)に基づき、将来的に一本化することを踏まえて、情報化委員会と合同で活動したとの報告が行なわれた。併せて単独の活動としてデータベース合同説明会を実施したとの報告が行なわれた。

4. 2003(平成15)年度東海地区協議会情報化委員会事業報告

情報化委員会委員長愛知大学(三浦)より資料(p.12~13)に基づき、統合も視野に入れ、相互協力委員会と合同で活動したとの報告が行なわれた。併せて単独の活動として東海地区協議会のホームページの維持・管理を行なっているとの報告がされた。

5. 2003(平成15)年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議報告

理事校南山大学(栗山)より資料(p.14~15)に基づき標記報告が行なわれた。

6. 2003(平成15)年度協会関連事項報告

1) 部会・協会関係および関連団体

理事校南山大学(栗山)より資料(p.16~18)に基づき報告が行なわれた。

## 2) 協会賞審査委員会・研究助成委員会

協会賞審査委員会・研究助成委員会委員金城学院大学(鈴木)より資料(p.19)に基づき、協会賞および研究助成について役員会への提案がなされたとの報告が行なわれた。引き続き理事校南山大学(栗山)より、3月5日に開催された2003年度第2回東西合同役員会にて原案が承認され決定したとの報告が行なわれた。

## 3) 国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員会委員中京大学(中河原)より資料(p.20~21)に基づき、標記委員会の2003年度の活動について報告が行なわれた。併せて2004年度国際図書館協力シンポジウムが東海大学で開催予定であり、海外集合研修および海外派遣研修参加者が出席する予定であるとの報告が行なわれた。

## 4) 協会ホームページ委員会

協会ホームページ委員会委員南山大学(石井)より資料(p.22~24)に基づき、2003年度の活動と東海地区協議会ホームページのアクセス状況について報告が行なわれた。併せて現在メーリングリストの添付容量制限と通知用メーリングリストについて対処中であることが報告された。

## 5) 私立大学図書館協会2004年度西地区部会総会について

理事校南山大学(栗山)より資料(p.25~26)に基づき、2004年度西地区部会総会について報告が行なわれた。併せて今年度も館長懇話会を開催する予定であり、総会開催の案内とともに話題、テーマ等に関する問合せの案内を出したとの報告が行なわれた。

## [ 審議事項 ]

### 1. 2003(平成15)年度東海地区協議会決算(案)および監査報告

理事校南山大学(栗山)より資料(p.27~28)に基づき、標記決算案について説明が行なわれた。併せて資料(p.29~31)に基づき研究会、相互協力委員会、情報化委員会、図書館管理・運営実務責任者会議の決算案について説明が行なわれた。引き続き、監事校金城学院大学(鈴木)より決算案について4月22日に会計監査を行い、適正であると認められたとの報告があり、決算案は承認された。

### 2. 2004(平成16)年度役員校および委員校(案)

理事校南山大学(栗山)より資料(p.33)に基づき、研究会運営委員校(次年度幹事校)が中京女子大学から東海女子大学に変更になったことを含め、2004年度の役員校および委員校について説明があり、承認された。

### 3. 2004(平成16)年度東海地区協議会事業計画(案)

理事校南山大学(栗山)より資料(p.34)に基づき、標記計画について例年どおり実施するとの説明があり、承認された。

### 4. 2004(平成16)年度東海地区協議会予算(案)

理事校南山大学(栗山)より資料(p.35~37)に基づき、説明があり、承認された。今年

度の変更点は次のとおりである。

(収入の部)

- ・昨年度総会で承認されたとおり、加盟会費を学生数によって設定した。
- ・賛助会費の名称を広告掲載費に変更した。

(支出の部)

- ・交付金の名称を支援金に変更した。
- ・事業に対する支援に重点をおいたため、次年度繰越金が減った。

5. 2004(平成16)年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算(案)

研究会幹事校中京大学(中河原)より資料(p.38~39)に基づき、「利用者の情報ニーズと図書館サービス~図書館利用教育の充実を求めて~」をテーマにした活動と予算案について説明があり、承認された。併せて利用者教育についてのアンケート回答の協力依頼があった。

6. 2004(平成16)年度東海地区協議会相互協力委員会事業計画ならびに予算(案)

相互協力委員会委員長校金城学院大学(鈴木)より資料(p.40~41)に基づき、事業計画ならびに予算案について説明があり承認された。主な活動は次のとおりである。

- ・情報化委員会と合同で図書館実務担当者研修会を開催する。
- ・昨年に引き続きデータベース合同説明会を椙山女学園大学で開催する。
- ・昨年度研究会で維持・管理したレファレンス事例集を引き継ぐ。

7. 2004(平成16)年度東海地区協議会情報化委員会事業計画ならびに予算(案)

情報化委員会委員長校愛知大学(三浦)より資料(p.42~43)に基づき、事業計画ならびに予算案について説明があり承認された。主な活動は次のとおりである。

- ・相互協力委員会と合同で図書館実務担当者研修会を開催する。
- ・東海地区協議会ホームページを引き続き維持・管理する。

8. 2004(平成16)図書館管理・運営責任者会議事業計画ならびに予算(案)

理事校南山大学(栗山)より資料(p.44~45)に基づき、昨年同様2回の標記会議を開催する活動ならびに予算案について説明があり承認された。

9. 2004(平成16)年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理事校・当番校について

理事校南山大学(栗山)より資料(p.47~50、別紙当日配付)に基づき、西地区部会を中心とした役員校、委員会委員選出方法について説明があり、次のとおりとした。なお、この件については最終的に西地区部会役員会で審議されることとなるが、その結果は次回以降の東海地区協議会常任幹事会で報告される。

- ・2010年度西地区部会研究会当番校  
今後決定する必要がある。
- ・国際図書館協力委員会委員

会長校からの「東海地区から1名選出するためのローテーション」の提案を承認した。中京大学、南山大学、名城大学、愛知大学、愛知学院大学、中部大学でローテーションを組む。

- ・ 協会ホームページ委員会委員

協議会より1名選出する必要があるが、ホームページの掲載情報の伝達方法を考慮し、理事校から選出する。また、その委員が情報化委員会に参加し、協議会ホームページを更新する。

- ・ 協会賞審査委員会・研究助成委員会委員

委員会の活動内容から考え、ローテーション制を設けることは難しい。

- ・ 「大学図書館研究」編集委員会委員

西地区部会長校より推薦依頼が届いた時、あらためて考える。

## < 2 > その他

理事校南山大学（栗山）より昨年問題提起された永年勤続者表彰制度のあり方に関して、意見があったら私立大学図書館協会常任幹事会において報告するので知らせてほしいとの依頼があった。

以 上